



普通救命講習を受ける皆さん。今、AEDを使った心肺蘇生法が重要視されています

救える命があります

もっと知ってほしい——AEDと心肺蘇生^{そせい}

心臓と呼吸が止まる——。それは、わたしたちにとって生死にかかわる危険な状態です。心肺停止後そのまま放置されれば、たった数分で大切な「命」を失ってしまいます。しかし、救急車が来るまでに1分1秒でも早く、心肺蘇生や電気ショックなどの応急手当を行うことができれば、その「命」を救うことができます。わたしはちは、いつ、どこで、「命」の危機に直面している人に会うか分かりません。ましてや、それがあなたの大切な人だったら……。これまで医師などに限られていた、心停止した人に電気ショックを与えて救命する「AED」（自動体外式助動器）が講習を受ければ誰でも使用できるようになったことから、本年度村では「AED」3台を導入しました。今月は大切な「命」を救うために、救急車が到着するまでの間、必要とされる「AED」を使った心肺蘇生法の重要性について取材しました。